

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
5	1	4			コンクリートダム工 (本体)	天端高	± 20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高(越流部堤頂高を含む)は、各ジョイントについて測定。 堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注)堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ジョイント間隔(横継目)は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 堤長は、天端中心線延長を測定。 3. 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。		
						天端幅	± 20			
						ジョイント間隔	± 30			
						リフト高	± 20			
						堤幅	-30, ± 50			
						堤長	-100			
5	1	4			コンクリートダム工 (水叩)	天端高	± 20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高(敷高)、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 長さは、各ジョイントごとに測定。 幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		
						ジョイント間隔	± 30			
						幅	± 40			
						長さ	-100, + 60			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
5	ダム	1	4		コンクリートダム工 (副ダム)	天端高	± 20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高は、各ジョイントごとに測定。 堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注)堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 堤長は、各測点ごとに測定。		
						ジョイント間隔	± 30			
						リフト高	± 20			
						堤幅	-30, ± 50			
						堤長	± 40			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
5	ダム	1	4		コンクリートダム工 (導流壁)	天端高	± 30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 (注)リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		
						ジョイント間隔	± 20			
						リフト高	± 20			
						長さ	± 100			
						厚さ	± 20			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
5 ダム 編	2 フィル ダム	3 盛立 工	5		コアの盛立	基準高	-0	各測点について5層毎に測定。 外側境界線は標準機種(タンピングロー)の場合		
						外側境界線	-0, +500			
5 ダム 編	2 フィル ダム	3 盛立 工	6		フィルタの盛立	基準高	-0	各測点について5層毎に測定。		
						外側境界線	-0, +1000			
						盛立幅	-0, +1000			
5 ダム 編	2 フィル ダム	3 盛立 工	7		ロックの盛立	基準高	-100	各測点について盛立5m毎に測定。		
						外側境界線	-0, +2000			
5 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム (洪水吐)	基準高	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 1回/1施工箇所		
						ジョイント間隔	±30			
						厚さ t	±20			
						幅 w	±40			
						リフト高さ	±20			
						長さ L	±100			
						配置誤差	100			